

技術部会活動計画

1. 目的と範囲

技術部会は、データ連携プラットフォーム仕様を策定し、当該仕様を活用するためのツールを整備し、実証プロジェクトへの実装に結びつく技術支援を行う。

2. 活動計画

(1) データ連携プラットフォーム仕様策定

国連 CEFAC 標準に準拠した、中小企業が活用できるデータ連携プラットフォームとして、次の仕様を整備する（外注）。技術部会は、次の項目を含むデータ連携プラットフォーム仕様策定作業の仕様を策定するとともに成果物の技術審査を行う。

- ① 最新版国連 CEFAC 共通辞書の日本語版（データ項目リスト）
- ② 国連 CEFAC 標準仕様に準拠した業務要件定義方法に関わる仕様
- ③ 国連 CEFAC 標準仕様に準拠した共通メッセージテンプレート
- ④ 国連 CEFAC 標準仕様に準拠した共通コード表
- ⑤ 参照業務領域（ドメイン）メッセージ（中小企業共通 EDI 仕様を含む）登録

(2) データ連携プラットフォームツール開発

データ連携システムのプラットフォームを活用し、また策定された業務領域メッセージ仕様を登録・公開して再利用を促進するための、次のツール類を開発する（外注）。技術部会は、次の項目を含むデータ連携プラットフォームツール開発の仕様を策定するとともに成果物の技術審査を行う。

① レジストリ管理システム

業務領域情報（業務領域名、管理機関名）を登録し、業務領域データ連携情報（業務要件、メッセージ定義、コード表）にリンクする。

② リポジトリ管理システム

業務領域ごとの業務要件、メッセージ定義、コード表、XML スキーマを保管する。

③ メッセージ設計支援

業務領域メッセージを設計する際、類似メッセージ検索、メッセージ編集、クラス図作成、検証、XML スキーマ作成などの支援機能を提供。

(3) 実証プロジェクトへの技術支援

- ① データ連携システム仕様活用ガイドブックを作成。
- ② 中小企業共通 EDI 実装ガイドライン
- ③ 実証プロジェクトチームへの研修会開催
- ④ 実証プロジェクトの技術提案審査

⑤ 実証プロジェクトの要請に基づく技術支援

(4) データ連携基盤の新技术への対応

- ① 金融連携に必要な技術支援
- ② IOT 連携への拡張仕様提案

(5) 活動成果を技術報告書として委員会へ提出する。

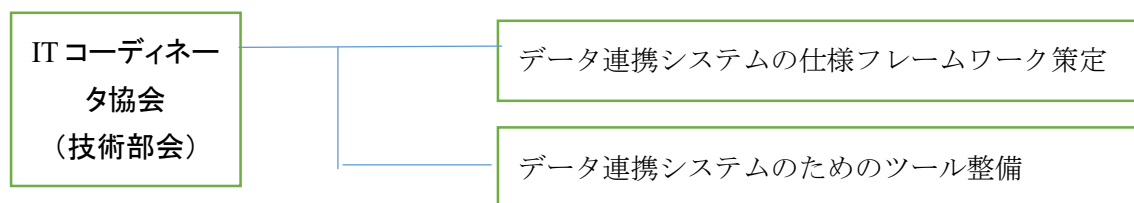
3. 技術部会体制

(1) 技術部会委員構成

部会長：菅又 久直	AFACT 技術手法委員会議長 国連 CEFAC 手法技術 PDA メンバー 国連 ESCAP UNNEXT アドバサリ
委員：松島 佳樹	ロボット革命イニシアティブ 協議会 (RRI) 中堅・中小企業 AG 委員会 主査
水谷 学	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) 筆頭副会長
坂本 真人	一般財団法人流通システム開発センター 主任研究員
遠城 秀和	国連 CEFAC バリテーション領域コーディネータ ISO TC68 セキュリティおよび意味情報データモデル委員
川内 晟宏	プロセス経営研究所 代表
藤野 裕司	株式会社データアプリケーション エグゼクティブコンサルタント

(2) 外注計画

活動計画の主な作業項目は外部に委託する。



(3) 委員会開催頻度

委員会の開催時期、およびプロジェクトの進捗状況を勘案して 8 回程度開催する。

(4) スケジュール

資料 3

